

用とする部族がいたであろうとか、太宰府には唐土周辺の諸言語もとびかっていたであろうとか、他言語の様をおもうことは不自然でなくできるのである。

時代がさがれば、ポルトガル語・スペイン語やオランダ語でやってくる人があり、その文物にまで実際に接した日本語の人がどれくらいあったかはわからないもの、「パン（麵麩）」あるいは「ビール（麦酒）」などの語をのこしている。高麗語・漢語の人びとは、鎖国後も貿易量のはるかにおおく、その前から日本語学習教材や辞書をつくりつけていて、それにみあうように日本人の側にも多少の努力はなかったものか。

江戸時代末期に、他言語の主流がオランダ語から英語にうつされている。日本語に影響を与える他言語が交替した、この状況は、もし交替がなかったならば今日の日本語がどのような姿をみせることになっていたか、という予測をするくらいのつもりで、とりあげられてよいかもしれない。

他言語がいつから街中にあふれるようになったか。雑誌の記事・広告や新聞で、いつから目だつようになってきたか。そうした現代史の問題も、当然あつかわれてよい。

## 5 付

言語間の接触あるいは日本語における語彙・語法の借用をめぐっては、論著がおおい。ここには、最近の特徴的なものをおおむね、考察の対象とする時代・年代をおって、ならべる。

湯沢 質幸（2001）古代日本人と外国語——源氏・道真・円仁・通訳・渤海・大学寮。勉誠出版、遊学叢書。

宮永 孝（2004）日本洋学史——葡・羅・蘭・英・独・仏・露語の受容。三修社。

杉本つとむ（1999）蘭学に命をかけ申し候。皓星社。

斎藤 兆史（2001）英語襲来と日本人——えげれす語事始。講談社選書メチエ。

森岡 健二（1999）欧文訓読の研究——欧文脈の形成。明治書院。

岡戸 浩子（2002）「グローバル化」時代の言語教育政策——「多様化」の試みとこれからの日本。くろしお出版。

河原 俊昭・山本 忠行（2004）多言語社会がやってきた——世界の言語政策 Q & A。くろしお出版。

効果する、ということになるであろう。

米語・英語へのかたよりも顕著である。今回みた中では、次の例外がある程度である。

地球紀行 世界遺産の旅 The World Heritage

BELGIUM ブリュッセルのグラン・プラス La Grand-Place, Brussels

(三井住友銀行の広告, グラビア p. 28)

国境を子供づれで越えると困り果ててしまう話—— DÜSSELDORF ——

(宇部興産の広告, p. 165)

米語・英語へのかたよりは、現在の日本では、当然である。

街中へでも同様であろう。しかし、それにまじって、たとえば駅や観光案内で、中国の漢字やハングルも容易にみることができ、国際線の航空券をあつかう店舗で、アジアの諸言語をみるができる。寺院で梵字をみるができる。事例をひろげることができるのである。

ただし、街中の店舗の看板などをみていると、よめなくともよいのではないかという印象ももつ。適当な数の文字と、その文字や背景の色・形などによって、店舗はみわけられているのではないか、そういう印象である。杉の葉を球にまとめて酒屋の看板としたというのと、さしてかわっていないのかもしれない。

## 5

以上のような問題、事例は、歴史的にも拡張しうるものである。

有史以前の日本列島の上に、日本語と称してよいものがあつたとすると、それに対置せらるべきものとして、アイヌ語はただちに想像することができる。高麗語や漢語もつたわり、漢語は梵語などをはこびもしたであろう。これらは、単に日本語のとなりにあつたのではなく、はいりこんできてもいた。「サケ(鮭)・テラ(寺)・カハラ(瓦)」などの語が、実否はともかくとして、アイヌ語・高麗語・梵語に由来するのではないかといわれることがあるのは、それらと日本語との間にしかるべき関係がありうると、一般にかんがえられていることをしめしている。

有史時代でも、漢語・高麗語との関係は密接であった。政治的支配層には、漢語の習得は必須であり、しかも様ざまな習得のしかたがあつたであろう。阿倍仲麻呂が唐の政權の中枢にはいり、空海がやはり入唐してその文化を日本に将来し、菅原道真が日本で和とともに漢に通じていた、というのは、それぞれのありかたで漢語・漢文化の習得の頂点をしめすものである。清少納言・紫式部も、同様である。このように像が具体性をもたなくとも、聖徳太子が高麗語をよくしたであろうとか、奈良時代はまだ高麗語を日

(秦郁彦論文, p. 139)

英語の「you」と同じように使われる。 (林望論文, p. 211)

これは原題名を“POSSESSION”と申します作品です。 (p. 479)

原題名は“Beautiful Joe”と申します。 (同上)

もともとネーヴィー (NAVY) には船の原義は含まれているが、海とは限らない。ボーデン湖にもドナウ川にもネーヴィーがいるのである。「鳴く鳥」の原義から発したスワン (SWAN) を「白鳥」と訳したから、オーストラリアの黒い白鳥は収まりが悪い。 (堺屋太一論文, p. 194)

「大量破壊兵器開発の決定的証拠 (smoking gun)」 (幸田和仁論文, p. 173)

日本語のように機能しているか、単に引用であるかということは、略称や固有名詞については判別することがむずかしいところがある。

光や ADSL, 高速無線 LAN, そして映像をもつなく携帯電話網など、ブロードバンド時代のネットワークをフルメニューで用意している NTT は、……

(NTT の広告, p. 109 の 2 ページ前)

このラテン文字で表記された部分は、“NTT”の“N”をのぞいて英語に由来する。“ADSL”がアルファベット一字一字の呼び名でいわれ、“LAN”が「ラン」といわれるのは、英語の事情を反映しているとおもわれる。

なお、種々の雑誌が日び創刊されている。その名は、一般向けのもものでは、日本語によらず、ラテン文字表記によることがおおいようである。雑誌ではなくて単行書籍であるが、今回みた中に次があった。

BODY & MONEY 鎌田利夫 本体1400円 (新潮社の広告, p. 113)

このようなものには、仮名表記がそえられることがある。言語が何であるかただちにはわからず、かいてもとめてもらわなければならない人びとに、よんでもらうこともできないからであるとおもわれる。

最近の傾向として、特に広告には広告主の URL がしるされる。その URL は、一般に、企業名のところがローマ字表記であるほかは、米語であるとかんがえられる。

<http://www.shinchosha.co.jp> (同上)

#### 4. 3

日本語に並存・混在する他言語について、一端をのぞいてきた。

事例が広告にかたむいているのは、現状を反映しているとかんがえる。すなわち、ひとつの内容を適当なながさの文章でつたえるときには、まだ日本語のみでたりる。しかし、人の印象にのこるように、みじかくうったえなければならないときには、他言語が

CoCoon 〈コクーン〉

(広告, p. 236 の13ページ後)

次は、企業名および標語らしいものであり、対応する仮名・漢字表記がみえない。

Kanebo The Lifestyle Company

(広告, グラビア p. 77)

このようなブランド銘・企業名は、この雑誌によらずとも、いたるところにみることができ。本稿では省略する。

#### 4. 2

他言語と日本語とがまじっているものがある。他言語が日本語に混在している事象という本稿の主題は、この種の事例によってささえられなければならない。しかし、この雑誌では、次にかかげる程度にとどまる。

文章を構成する一文、または一文を構成する語句。最初の事例には、別稿で考察することとした、仮名・漢字表記の他言語とかがえられるものも、みられる。

『T. R. Y. (トライ)』の時は上海での撮影でしたけど、ワンカット撮影して OK 出そうとしても「OK」で通じなかったことが印象に残っています。「好 (ハオ)」って言うと、初めて OK になるんです。(薩摩酒造の広告, 談話, グラビア p. 24)  
「OK。で、それからどうするの？」

(NTT コミュニケーションズの広告, 電話をしている, p. 204 の2ページ後)

ドイツの老舗ブランドの魅力を伝える直営店が、銀座一丁目に OPEN

(コラム “文春 LOUNGE” の中の

コラム “News Sensor” の見出し, p. 257 の11ページ前)

一語における混在。この語は、語種の混種語になぞらえていうならば、混言語語である。コラム名 “文春 LOUNGE” もその例である。

WATCH 標本箱

(コラム “文春 LOUNGE” の中のコラム, p. 257 の7ページ前)

文藝春秋 BOOK 倶楽部 (コラム, p. 418。目次では「文春ブック倶楽部」)

これらの事例は、他言語というにははばかれるところもあって、すなわち、外来語の原語が原綴りで表記されたにすぎないとみることでもできる。最後の事例は、目次の表記では、外来語がはいっているとらえるのがよいであろう。

この種の事例の収集・検討は、一般的には、J ポップをみるのがよいとおもわれる。そこにあるのは、外来語のラテン文字表記などというもののばかりではない。しかし、本稿ではたちいらぬ。

なお、次のような事例は、日本語にまじっているが、まさに他言語の引用である。

仮設飛行場 → 原文は already-built (既設) だから、明らかな誤訳

空のむこうには、あなたを変える旅がある。JAL。 《小》(p.108 の次)

日本語の説明がないこともある。次は、ページの上のほうに日本語「菌がシッポを巻きましました。」を目だたせせ、ページの中心に、菌がならんで文字をつくっている絵をおく。その文字は英語をしるしている。命令文である。

HELP (第一製薬の広告, グラビア p.80)

次はピリオドがあるが、文ではないかもしれない。

A private affair. 《文字大》

Cellisima model. 18ct white gold. 《小》(ロレックスの広告, グラビア p.42)

一文を構成せず、語句のまとまりにとどまるものは、標語のようなものである。次は製品の名をともなっている。

EXCEED

25th Anniversary

エクシード誕生25周年 (シチズンの広告, p.257 の8ページ前)

また、コラムの名などになっている。日本語をともなうもの。

わたしの映画スタア My Cinema Star (グラビア p.57)

奄美の顔 The Spirit of Amami Island

(奄美大島の企業グループの連載広告, グラビア p.53)

白澤正 (本社)=写真 photographs by Tadashi Shirasawa (グラビア p.9)

日本語をともなわないもの。

Face (コラム名, グラビア pp.33—40)

what's new (コラム“文春 LOUNGE”の中のコーナー, p.257 の5ページ前)

ブランド銘や企業名は、このようなものがゆきつくところであるともかんがえられる。

次は、クラブ名に日本語がともなわず、企業名に仮名表記をともなっている。

THE NEW OTANI CLUB すべては、笑顔のために。

The New Otani ホテルニューオータニ (広告, グラビア p.8)

次は仮名表記をともなっているとみられる。

BVLGARI ただひとつのものを最上と呼ぶ。ブルガリ

(広告, 表紙2の2ページ後)

次の企業名は仮名・漢字表記を直接にはともなわないが、長文の製品説明の最後に仮名表記がみられる。その製品の名には、片仮名がそえられている。

SONY

…… ソニーの技術がテレビと人間の変えてゆきます。

ある雑誌一冊からとりあげる。『文藝春秋』第81巻第3号2003年3月特別号である。芥川賞受賞作全文が掲載され、また、「日本語大切」という特集がくまれている。ひろウ事例は一端であって、全事例の採集はめざまない。

何を他言語とみとめるかという問題が、最初にある。ここでは、仮名・漢字によらず、ラテン文字などでしるされていることを、要件とする。もとより、たとえば「NHK」は語種が外来語である日本語としてよく、ラテン文字でしるされているからといって他言語であるわけではない。ただ、日本語の仮名表記などを翻字したとみなすことができないようなものは、他言語とみられるであろう。

また、仮名・漢字でしるされているから日本語であると、一律にかたづけるわけにもゆかない。これについては、別稿にゆずりたい。

こうした程度の原則で事例にあたることとする。この原則が深刻な影響をおよぼすほどには、事例の整理や考察にたちいる準備がない。

事例の所在はページによりたいが、雑誌につけられたページの番号を参考にしながら適当にしめす。すなわち、この雑誌は、表紙の表裏の直後に2ページあり、つづいて目次10ページ、さらにグラビア・広告とりまぜて100ページあって、本文がはじまり、本文の最初は77ページの番号がついている。そこで、当のグラビア・広告の部分は独立に1—100ページの番号あたえ、「グラビア p. …」としめす。本文の中に広告ページがあるときにも、ページの番号のつけようがないことがあり、それは本文のページの番号の前後としてしめす。《 》内は引用にあたっての注である。

#### 4. 1

表紙見返しは、見開きでJTの広告である。おおきくめだつ文字・文章は英語であり、それよりちいさく日本語が2段階のおおきさでしるされている。

MEET YOUR DELIGHT

《文字のおおきさ大》

愛煙家とたばこをお吸いにならない方が共存できる環境づくりを推進していきます。

《中》

…… JTが、すべての事業を通じて目指している「デイトライト」。それは、私たちの製品や活動を通じて、一人一人のお客さまに「期待以上のよろこび」を、「満足を超える高い価値」をお届けすることです。 ……

《小》

英語の一文が広告の中心であるとみられる。しかし、「delight」が読者に理解されにくいかんがえられたか、その解説が、ちいさい文字の日本語でおこなわれている。

次の広告も同様であるが、日本語は解説としてはすこし距離が感じられる。

Dream Skyward.

《文字大》

る諸言語がどのようなものであるかを、前ページの表にしるす。様ざまな場でおこなわれているはずの教育・学習のうちで、とりあげるのは、東京外国語大学および大阪外国語大学で専攻できる諸言語であり、そのすべて29言語である。関係する日本人の数をしる参考程度にはなるであろうとおもい、ふたつの大学の2005年度入学定員をしめす。

また、NHKのラジオ・テレビで語学番組として放送されているものが9言語あり、それを表に「講」としるす。他の外国語大学で専攻できる、あるいは外国語学校で学習できる諸言語は、ほとんどこの「講」にかさなり、入学定員は英語・米語が特におおい。リンガフォンは、諸言語を教材としてそろえていても、日本語で解説をほどこしているものは、大体この「講」にかさなる。日本で、教授対象として言語名をもっともおおくかかげる学校は、琉球語やラテン語をふくむが、61言語の大学書林国際語学アカデミーかとおもわれる。

日本語と他言語とを並置するものは、教育・学習のみではない。しかし、それは、日本語のものが基になっていて、今回の検討の対象には適さないようである。

たとえばインターネットのウェブサイトであり、日本語版のほかに英語版も普通に作成される。サイトの性格によっては、さらに他の言語の版が作成されていることもある。他言語版を作成しないときに“sorry, Japanese version only”のように一言するのは、その事情を裏からものがたるものである。

また、たとえば、観光案内や博物館・美術館などの案内が、いくつかの言語でつくられることがおおい。つくられるとすれば、英語版はかならずあって、漢語版・高麗語版がそれにつぐ。おなじような施設でも、他言語への対処にちがいはあるものであり、東京国立博物館と京都国立博物館とは、施設を簡単に紹介するパンフレット、あるいは音声・映像ソフトウェアで、次のようである。

東京国立博物館 英語 漢語 高麗語 フランス語 スペイン語 ドイツ語  
京都国立博物館 英語 漢語 高麗語 フランス語

博物館・美術館の展示図録では、一部あるいは要約の形式で、英語がそえられていることがおおい。人文系・社会系の学術雑誌でも英語による標題・要約がよくそえられ、国際的におこなわれる抄録のためのものかとおもわれる。

電化製品でも、電圧が国際対応になっているようなものでは、とりあつかい説明書に他言語がならんでみられるようになった。

イト「21の言葉で聴ける外国語ニュース」([http://www.nhk.or.jp/toppage/21\\_languages/](http://www.nhk.or.jp/toppage/21_languages/))でも配信している。21言語は、下の表に「RN」として示したものであり、日本に関心をもつ世界の国々におおきくおおうようである。

日本列島に地理的に隣接して存在する諸言語は、隣接するといっても海をへだてなければならぬが、それぞれと日本語との関係のありかたは、ことなる。

高麗語・漢語・ロシア語・タガログ語・米語は、いずれも日本列島に隣接して存在する。漢語は、隣接の条件が古代においてよくいき、日本語にふかく影響した。高麗語は、その古代漢語が日本にいたる経路にあって、漢語の受容のしかたを日本語におしえたところがある。ロシア語は関係がうすく、タガログ語は接触がないといってよい。米語は、現在の日本語に影響がおおきいが、隣接が要件となっていないとはおもわれない。

3

おなじ内容について、日本語と他言語とが並置されることは、よくある。日本語による表現が基になって、そこから他言語に翻訳されるならば、日本語が他言語から影響をうけるということは、あまりかんがえられない。逆に、他言語から日本語に翻訳されるならば、他言語の影響を日本語はうけやすいことになる。

言語教育・学習では対訳が意図的におこなわれる。現代の日本で教育・学習されてい

表

	RN	ワールドラジオ日本でニュースを放送する。								
東京		東京外国語大学における専攻。数字は入学定員。								
大阪		大阪外国語大学地域文化学科における専攻語。数字は入学定員。								
講		NHKで語学講座として番組がある。								
ロ	ア	RN	東京70 大阪46 講	モン	ゴル	東京15	大阪15			
ポー	ランド		東京15	高	麗	RN	東京30 大阪15 講			
チ	ェ		東京15	漢		RN	東京60 大阪61 講			
ハン	ガリー		大阪15	フィ	リピン		東京15 大阪15			
スウェー	デン	RN	大阪15	ベ	トナム	RN	東京12 大阪10			
デン	マーク		大阪15	ラ	オ	ス	東京10			
英	米	RN	東京70 大阪71 講	タ	イ	RN	東京15 大阪10			
ド	イ	ツ	RN	東京60 大阪31 講	カン	ボジア	東京10			
イ	タ	リア	RN	東京30 大阪30 講	ピ	ル	マ	RN	東京10 大阪10	
フ	ラ	ンス	RN	東京60 大阪36 講	マ	レー	シア	RN	東京10	
ス	ペ	イン	RN	東京70 大阪48 講	イン	ドネ	シア	RN	東京18 大阪15	
ポ	ルト	ガル	RN	東京30 大阪25	ベン	ガル	RN			
ペ	ル	シア	RN	東京15 大阪15	ヒ	ン	ディー	RN	東京15 大阪15	
ア	ラ	ビア	RN	東京15 大阪25 講	ウル	ドゥ	ー	RN	東京15 大阪15	
ト	ル	コ		東京15 大阪10	ス	ワ	ヒ	リ	RN	大阪25



言語の数としてみるならば、在日大使館をおく国が160余あり、それぞれの公館でそれぞれの本国の言語がもちいられているとみて、100を超える諸言語が、日本列島のうえでもちいられていることになるかもしれない。一国家でいくつもの言語をもちいることも、一言語がいくつかの国家でもちいられることも、あり、また、在日大使館を本国や他国におく国もあるから、計数は単純にゆかないが、決してすくなくはない。

使用人口すなわち使用量からみるならば、もっともおおい言語として、在日韓朝鮮人を使用者の中心とする高麗語があげられるであろう。2003年末の外国人登録者統計によるならば、就労者・留学生をふくめて登録者は186箇国から192万余人、うち韓国・朝鮮を国籍とする者61万余人である。中国42万余人、ブラジル26万余人、フィリピン16万余人が、それについている。この人たちが何を第一言語とし、日用を何語によっているかに、不明がこのころが、大勢はこの数字にちかいと想像される。

外国人登録者は、さらに、ペルー5万余人、アメリカ4万余人とつづくが、アメリカについては、外国人登録をしていない在日米軍4万余人がいる。以上のような人びとのほかに、日本列島の上には、出張や観光で一時おとずれている人もいる。外国人登録者数は、日本の人口の1.5%にあたるから、日本全土を平均して、100人のうちの2人くらいは、日本語を日用としていない可能性がある。日本の業務でも、貿易や航空管制など、他言語によるものもあるので、日本列島でやりとりされていることばのうちでは、日本語でないものが、いい加減にみつめると100分の5くらいに達するのかもしれない。

われわれは、諸言語に、たとえば電車の中で接しているのであろう。となりのふたりづれが何語かで会話をしていたり、むかひの席で何文字かの本をひらいていたり、実はしている。しかし、それをそれとしてうけとめる力にかけて、ききすごし、みすごしてしまっている。そういう可能性はあるであろう。

大使館や家庭・勤務先などでもちいられる諸言語は、それぞれの言語それ自体で完結しているとおもわれる。日本語といわば物理的には密着しながら、おなじ内容で日本語を並行させるといった、内実の関係はない、そのようなありかたである。言語間の接触は、学習・翻訳や借用がおこなわれて、あることになる。そこにいたっていなくとも、隣接していることは、いずれは接触をひきおこす要因でありうる。

## 2 付

日本列島から海外にむかって発する諸言語がある。輸出にともなう諸言語も、そのうちにふくめてよい。そのほかに、ものにもなっているのではない事例もある。

NHKは、「ワールドラジオ日本」で世界にむけて21言語で放送をながし、ウェブサ

# 日本語に並存・混在する他言語

石 井 久 雄

## 1

本稿でとりあげるのは、日本語に接して並存ないし混在している諸言語である。他言語であって、日本語における借用語ないし外来語ではない。

今日の日本では、日本語のほかに、諸言語を豊富にみることができる。種類の言語があるととともに、それを代表する英語のみをみても、いたるところにしろされているのをする。日本語は、日本人同士の間においてすら、コミュニケーションの十全な用具ではなくなっているのではないか。諸言語との協働によって役割をはたすことになっているのではないか。これが本稿の問題意識である。

筆者は、しかし、この問題によく気がついたところである。本稿では、とりあえず、日本語の傍あるいは中であきらかである諸言語を観察することとしたい。問題のスケッチすらできず、事象をおもいつくままに羅列する。研究をはじめるとあたって、ブレインストーミングの材料を提供する、そういったものが本稿である。

ところで、2言語が接触したときに、両者は対等でない。学習者数や翻訳の量によって、あるいは語彙・語法の借用によって、それをしることができる。日本語にとって接触の相手を代表するものは、古代においては漢語、現代においては米語であり、それぞれの影響をおおきくうけている。しかし、古代の漢語も現代の米語も、種類の言語を接触の相手として、日本語はその幾十分の一かにすぎないであろう。以下では、もっぱら日本語ないし日本におけるものをみて、接触の相手の側で日本語がどのようなおもみをもつかということをはかんがえない。

## 2

現在の日本列島の上では、人と人のかかわりあいには、おそらくは圧倒的に、日本語を第一言語とする人びとの間のものである。つまり、日本列島の上で支配的にやりとりされている言語は日本語である。その日本列島の上で、日本語のほかに何があるか。